

事務事業名		上牧集落センター管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	農政係	担当課長名	藤掛 広行	
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 市民活動団体への支援と連携強化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8766	一般	6	1	2	上牧集落センター管理事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間		昭和56年度～ 年度	根拠法令 条例等	佐野市生活改善センター条例 佐野市生活改善センター条例 施行規則				
	任意の事業・義務的事业業						任意の事業				
	実施方法						一部委託				
事業分類						施設維持管理事業(市主体)					
リーディングプロジェクト						該当なし					
市長マニフェスト						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
施設の利用申請に基づく利用許可書の発行 施設の維持管理及び修繕 施設の利用に伴う光熱水費等の支払			・火災保険料を支払った。 ※利用手続は町会が行っている。 ※光熱水費、農業集落排水料は町会費から支払われている。							
活動指標			単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)		
利用件数			件	31	12	20	20	20		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
施設の利用者(市民、市民活動団体、事業者、行政)			対象指標		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
施設の利用者数			人		765	509	400	400	400	
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市民活動するための環境が整備されている。			成果指標		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
不都合なく利用できた人数/施設の利用者数			%		100	100	100	100	100	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民活動団体が活発に活動している。			上位成果指標		単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
市民活動に携わっている団体数			団体		330	335	340	345	350	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円			1	1	1					
	一般財源	千円	10	10	59	59	133					
	事業費計(A)	千円	10	10	60	60	134					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			火災保険料	10	火災保険料	10	修繕料	49	修繕料	49	修繕料	49
							火災保険料	11	火災保険料	11	火災保険料	11
人件	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1					
のべ業務時間	時間	36	36	36	36	36						
人件費計(B)	千円	140	142	142	142	142						
トータルコスト(A)+(B)	千円	150	152	202	202	276						

事務事業名	上牧集落センター管理事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農政係
-------	--------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	地域住民より、住民の集まる場所の設置要望があった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	人口減少、高齢化により市民活動が低下している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	冷房設備の充実、屋根の塗装の要望があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市民活動の場所となっている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案	市有施設であるため、施設の修繕や火災保険料の負担をしなければならない。利用手続や維持管理等、委託できるものは委託している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	公の施設であり、利用者が不都合なく安全、快適に利用できる環境を整えておく必要がある。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	故障箇所の把握を迅速にできるようにすることで、ある程度成果を向上させることができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費、人件費は施設の所有に係る最低限のものである。利用手続に要する経費や光熱水費等は町会が負担しているため、削減の余地がない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	佐野市生活改善センター条例で使用料や使用料減免の規定が定められている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	利用者が皆無になり、利用の見込みがなくなったとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)  _____ _____ _____																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			